講座№16204

発達障害・専門講座４

 事例から学ぶ自閉症スペクトラム（ＡＳＤ）

**－医療・教育・福祉現場での有効な支援と合理的配慮－**

**期　　日：２０１６年 ７月３0日（土）・31日（日）**

受講対象：自閉症や特別支援教育に関わる教諭、養護教諭、学校関係者のほか、保育・相談に関わる専門職の方、および保護者の方々

**定　　員：80名**（定員になり次第締切りますのでホームページ等でご確認ください）

**受 講 料：１0,０００円**（税込み）　　※昼食は各自でお手配ください

**主　　催：公益財団法人　明治安田こころの健康財団　　０３-３９８６-７０２１**

**会　　場：明治安田こころの健康財団　講義室**※詳細地図は受講証に添付いたします

**東京都豊島区高田３－19－10**

 ＪＲ山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約７分

今年4月に施行される障害者差別解消法には、行政機関、地方公共団体及び民間事業者に対して、様々な場面での合理的配慮の提供の法的義務、努力義務が明記されています。身近な地域での「療育支援サービス」や「インクルーシブ教育システム」等により、人間の多様性を尊重し、障害者が精神的及び身体的な能力を最大限度まで発達させ、社会に効果的に参加できるよう「合理的配慮」が提供されることの必要性が強調されています。また、文部科学省は公立小中学校で実施されている通級指導を公立高校でも実施していくことを検討しはじめており、今後新たな提案もなされていくと思われます。すでに実施されている障害児支援の強化に向けた児童発達支援事業も、絶対数の不足の状態にあり、個々の子どもと家族のニーズに合う療育の提供までに至っていません。このような現状の中、自閉症スペクトラム（ASD）の特徴のある人に対する有効な支援及び合理的配慮について、より具体的で効果的な内容を模索していく必要性が生じてきています。

今回の講座では医療・教育・福祉等の各領域のエキスパートの先生方に、有効な支援と合理的配慮について事例に基づいて提案していただく予定です。自閉症スペクトラムの支援に携わっておられる方の積極的なご参加をお待ちしております。

**企画講師：明治安田こころの健康財団　子ども療育相談センター長**

**新井　利明**

**≪企画講師　明治安田こころの健康財団　子ども療育相談センター長　　新井　利明≫**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日　程 | 時　 間 | 　　　　テ　　ー　　マ | 講 師（敬称略） |
| 7月30日（土） | 12:30～14:30 | 医療現場におけるＡＳＤの現状と合理的配慮 | 都立小児総合医療センター市川　宏伸 |
| 14:40～16:30 | 療育現場におけるＡＳＤの現状と合理的配慮 | 明治安田こころの健康財団　　　　　　新井 利明 |
| 7月31日（日） |  9:50～11:40 | 教育現場におけるＡＳＤの現状と合理的配慮 | 横浜国立大学渡部　匡隆 |
| 11:40～12:30 | *昼　　 食　（各自でおとりください）* |
| 12:30～14:20 | 福祉現場におけるＡＳＤの現状と合理的配慮 | 東京都練馬区立氷川台福祉園小嶋　康裕 |
| 14:30～16:20 | 就労支援現場におけるＡＳＤの現状と合理的配慮 | 就労支援施設　ウィズユー平　　雅夫 |

【*プログラム*】

※テーマ・講師・時間等変更となる場合がありますのでご了承ください。